

京大時計台

稲盛財団京都賞シンポジウム会場前で

JAL不当解雇撤回の

宣伝行動おこなう

7月1日と2日、京大時計台前で第4回京都大学—稲盛財団合同京都賞シンポジウム開催に合わせ、「JAL闘争を支える京都の会」はシンポジウム参加者にビラ配布行動をおこないました。JA客乗原告団副団長である鈴木圭子さんにも参加していただきました。

7月1日にビラ300枚、2日にビラ300枚、合計600枚を手渡しすることができました。1日には稲盛氏を乗せた黒塗りの車も到着し、稲盛氏も注目していたと思います。



原告団の鈴木さんと長く話し込んで、

「何か応援できることはありませんか。」と言っていた中年男性とか、「株主総会で京都市美術館のこと話した人がいたけど、あの人の言う通りで、あれはあかん。金出したらいいとかいうやり方はあかん。」と話された年配男性など応援してくれる人も多く、98%のビラの受け取り率でした。勝利解決をめざし、今後がんばりましょう。



(ウラ面もご覧ください)

京セラ株主総会で宣伝行動

6月27日、京都市伏見区の京セラ本社ビルで午前10時から京セラ株主総会が開かれましたが、「日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議」の仲間と「JAL不当解雇撤回原告団」が京セラ本社ビル前で抗議宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」からも参加しました。



そして今年は「私たちは京都市美術館の（京セラへの）売名に同意しない」という「京都市美術館問題を考える会」のたくさんの市民が、宣伝行動を独自におこないました。京都支援共闘の梶川憲世話人（京都総評議長）から主催者挨拶を受け、JAL客乗原告団の鈴木圭子副団長より「断固勝利を勝ち取る。」という力強い表明がありました。「きょうとユニオン」の仲間からは「稲盛和夫が塾長の盛和塾に勉強に行っている経営者と団交をおこなうが、決まって共通しているのがウソをつくということである。稲盛に必ず会って勝利を勝ち取ろう。」と連帯挨拶を受けました。

株主総会では昨年に引き続き稲盛和夫名誉会長は欠席し、京都支援共闘の稲村守さん、JAL客乗原告団の鈴木圭子さんが総会で発言しましたが、谷本社長は、まるでやる気のない答弁に終始したとのこと。これからも稲盛和夫氏にJAL不当解雇の解決を求めていきましょう。



JAL闘争を支える京都の会・交流会



京セラ株主総会前日の6月26日、JAL客乗原告団副団長の鈴木圭子さんを招いて、京都市内で「JAL闘争を支える京都の会・交流会」を行いました。

交流会では南勝次郎会長の挨拶のあと、鈴木さんに情勢報告をしていただきました。

第二部では懇親会をおこない、最後に駒井高之事務局長の発声で「JAL闘争の勝利をめざし、団結ガンバロー」をおこなって交流会を終えました。